

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2005-524393(P2005-524393A)

【公表日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2005-032

【出願番号】特願2003-569651(P2003-569651)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 K 31/7115 (2006.01)

A 6 1 K 31/712 (2006.01)

A 6 1 K 31/7125 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 P 13/08
 A 6 1 P 13/10
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 19/00
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 25/02 1 0 1
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 P 27/16
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 31/00
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/18
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 K 31/7105
 A 6 1 K 31/711
 A 6 1 K 31/7115
 A 6 1 K 31/712
 A 6 1 K 31/7125
 A 6 1 K 31/713
 A 6 1 K 48/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月8日(2006.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

センス領域およびアンチセンス領域を含み、RNA干渉(RNAi)によりインターロイキン-2(IL-2)の切断を指示する化学的に合成された二本鎖短干渉核酸(siRNA)分子であって、

- a. 前記siRNA分子の各領域は19-29ヌクレオチドの長さであり；
- b. 前記siRNA分子のアンチセンス領域は、前記IL-2RNAのヌクレオチド配列に相補的なヌクレオチド配列を含み；センス領域はアンチセンス領域に相補的であり；かつ
- c. 前記siRNA分子は、前記siRNA分子のセンス領域およびアンチセンス領域中

に少なくとも1つの化学的に修飾されたヌクレオチドを含む，
ことを特徴とする s i R N A 分子。

【請求項2】

前記 s i R N A 分子がリボヌクレオチドを含まない，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項3】

前記 s i R N A 分子が1またはそれ以上のリボヌクレオチドを含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項4】

前記化学的に修飾されたヌクレオチドが2'-デオキシヌクレオチドを含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項5】

前記化学的に修飾されたヌクレオチドが2'-デオキシ-2'-フルオロヌクレオチドを含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項6】

前記化学的に修飾されたヌクレオチドが2'-O-メチルヌクレオチドを含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項7】

前記化学的に修飾されたヌクレオチドがホスホロチオエートヌクレオチド間結合を含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項8】

前記化学的に修飾されたヌクレオチドが無塩基成分を含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項9】

前記無塩基成分が反転デオキシ無塩基成分を含む，請求項8記載の s i R N A 分子。

【請求項10】

前記センス領域がリンカー分子を介してアンチセンス領域と連結されている，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項11】

前記リンカー分子がポリヌクレオチドリンカーである，請求項10記載の s i R N A 分子。

【請求項12】

前記リンカー分子が非ヌクレオチドリンカーである，請求項10記載の s i R N A 分子。

【請求項13】

センス領域中に存在する1またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドが2'-O-メチルピリミジンヌクレオチドである，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項14】

センス領域中に存在する1またはそれ以上のプリンヌクレオチドが2'-デオキシプリンヌクレオチドである，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項15】

センス領域中に存在する1またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドが2'-デオキシ-2'-フルオロピリミジンヌクレオチドである，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項16】

センス領域がセンス領域の5'末端，3'末端，または5'末端および3'末端の両方に末端キャップ成分を含む，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項17】

前記末端キャップ成分が反転デオキシ無塩基成分である，請求項16記載の s i R N A 分子。

【請求項18】

前記アンチセンス領域の1またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドが2'-デオキシ-2'-フルオロピリミジンヌクレオチドである，請求項1記載の s i R N A 分子。

【請求項 19】

前記アンチセンス領域の1またはそれ以上のプリンヌクレオチドが2'-O-メチルプリンヌクレオチドである，請求項1記載のsiRNA分子。

【請求項 20】

前記アンチセンス領域の1またはそれ以上のプリンヌクレオチドが2'-デオキシ-プリンヌクレオチドを含む，請求項1記載のsiRNA分子。

【請求項 21】

前記アンチセンス領域が前記アンチセンス領域の3'末端に末端ホスホロチオエートヌクレオチド間結合を含む，請求項1記載のsiRNA分子。

【請求項 22】

アンチセンス領域の5'末端が末端リン酸基を含む，請求項1記載のsiRNA分子。

【請求項 23】

薬学的に許容しうる担体または希釈剤中に請求項1記載のsiRNA分子を含む組成物。